

報道関係各位

U-22プログラミング・コンテスト実行委員会

実行委員長：江草 陽太

運営事務局：一般社団法人ソフトウェア協会(SAJ)

U-22 プログラミング・コンテスト 2025 応募要項を公開！
参加資格を大幅変更し、学生であれば 28 歳まで応募可能に
地域創生のための「デジタル社会実現ツアー」内コンテストとも連携！

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、通算 46 回目の開催となる U-22 プログラミング・コンテスト 2025 公式 Web サイト（<https://u22procon.com/>）で応募要領を公開しました。

今年から参加資格を大幅に変更し、学生であれば個人（28 歳以下）でも、団体であれば学内外構成メンバー問わず、応募可能といたしました（社会人・フリーターは 22 歳まで）。

また、地域社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）を加速し、持続可能な地域創生の実現を目的に開催される「デジタル社会実現ツアー2025」（主催：アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社）と連携し、同ツアー内で開催される「地域創生・社会課題解決 AI プログラミングコンテスト」の各地域で優勝した作品は、U-22 プログラミング・コンテストの事前審査通過対象作品とともに、一次審査進出可否を審査されることとなりました。事前審査を通過した作品は他の作品とともに一次審査に進み、少なくとも 1 作品は最終審査に進出する権利が付与されます。

また、地方創生プログラミングコンテストと U-22 プログラミング・コンテストは、評価者（審査員）が異なることから、同一作品による両コンテストへの併願を可能としますので、チャンスが 2 倍に広がります。

生成 AI をはじめ、ノーコード・ローコードツールなども増加し、エンジニア自身がコーディングする機会が減少する中、周辺の情報を整理・考察し、新たな解決方法を見出すプロセスが求められています。

U-22 プログラミング・コンテストは、「プログラミング」技術を活用して、自分たちのアイデアを形にし、オリジナルのアプリケーションやサービスを生み出していく若者を応援するコンテストです。受賞者には副賞だけでなく、自らの成長をさらに促すための、ステップアップの道も整えています。

「好き」なモノや「作りたい」モノに熱中すること、楽しむことが、自分たちのこれからの道を構築していくことを、コンテストを通じて発信してまいります。

昨年に引き続き、ディスコードコミュニティを通じた参加者・応募予定者たちの交流や、委員への相談機会なども予定しています。

歴史と伝統あるコンテストで、次世代を担う IT エンジニアたちの活躍をご覧ください。

<U-22 プログラミング・コンテスト 2025 応募要項>

■参加資格

22 歳以下（西暦 2003 年 4 月 2 日以降生まれ）、または学生である 28 歳以下（西暦 1997 年 4 月 2 日以降生まれ）の者（または、同条件の者で構成される団体）

※社会人・フリーター等：22 歳以下まで応募可能。学生：28 歳以下（例：大学博士課程所属など）まで応募可能。

■募集作品

未応募（他のコンテスト含む）のオリジナル作品であること。ただし「地域創生・社会課題解決 AI プログラミングコンテスト」との併願は可能とする。

■募集ジャンル

特に問いません。アート、AI、IoT、セキュリティ、プログラミング言語、ユーティリティ、学習&教育、コミュニケーション、ゲームなど、プログラミング技術を用いて、実行可能にしたオリジナル作品をご応募ください。

■各賞・副賞

経済産業大臣賞	50万円×4本
経済産業省商務情報政策局長賞	5万円×6本
スポンサー企業賞	Webサイトにて後日公開予定（ https://u22procon.com/ ）

■応募に関する問い合わせ

ディスコードコミュニティに参加のうえ、事務局あてにお問い合わせください。

応募者用コミュニティ参加登録

[https://u22-procon-discord.ishikari-](https://u22-procon-discord.ishikari-dc.jp/join?role=1217992563085152376&token=5Yuu3rKQC@n5k8e-XXYiSFnZds95BHWi7m)

[dc.jp/join?role=1217992563085152376&token=5Yuu3rKQC@n5k8e-XXYiSFnZds95BHWi7m](https://u22-procon-discord.ishikari-dc.jp/join?role=1217992563085152376&token=5Yuu3rKQC@n5k8e-XXYiSFnZds95BHWi7m)



▼受賞特典の一例

スキルアップ	開発支援	活動支援	コミュニティ参加
運営事務局を置く一般社団法人ソフトウェア協会(※1)のエンジニア向けセミナーに期間限定でご招待します。	IPA 未踏事業(※2)のPMやプログラミング言語の開発者など、国内トップで活躍する委員とのつながりができます。そのほか、U-22 プログラミング・コンテスト連携する各種プロジェクトの有益な情報もお届けします。	応募作品をよりよいものとするためのフィードバックはもちろん、企業の経営層である実行委員の目に留まれば、サービス化に向けた支援が受けられる可能性もあります。また、事務局あてに起業相談なども可能です。	U-22 のディスコードコミュニティ「Alumni」へ登録が可能です。コミュニティ上では、メンバー同士で開発に関する相談も行えます。また、翌年以降の最終審査会のお知らせもご案内します。

※1：「一般社団法人ソフトウェア協会（略称：SAJ）」は自社で市場ニーズを分析し、企画、開発、商品化したソフトウェアを開発・販売している企業を中心に構成される団体で、ソフトウェア産業の発展に係わる事業を通じて、国内産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的に活動しています。

※2：「未踏事業」は、経済産業省所管であるIPA（独立行政法人情報処理推進機構）が主宰し実施している“若い突出したIT人材の発掘と育成”を目的として、ITを活用して世の中を変えていくような、日本の天才的クリエイタを発掘し育てるための事業です。

■第4回 U-22 キービジュアルコンテスト開催

例年に引き続き、来年のキービジュアルをU-22世代から募集するU-22 キービジュアルコンテストを併催します。詳細は以下URLをご参照ください。

第4回 U-22 キービジュアルコンテスト詳細：<https://u22procon.com/keyvisual/>

■開催スケジュール（予定）

4月8日（火）	U-22 プログラミング・コンテスト応募要項発表 第4回 U-22 キービジュアルコンテスト応募要項発表
7月1日（火）～8月29日（金）	応募期間
11月30日（日）	U-22 プログラミング・コンテスト 2025 最終審査会・表彰式 第4回 U-22 キービジュアルコンテスト優秀賞発表

■U-22 プログラミング・コンテスト概要

自らのアイデアを「プログラミング」技術を活用して、身の回りの課題を解決したり、夢中になって開発に取り組む若者を応援する、ジャンル・言語不問の作品提出型コンテストです。1980年から経済産業省主催で開催していた「U-20 プログラミング・コンテスト」を引き継ぎ、2014年からは、「次世代のITエンジ

ニアを発掘・応援したい」という想いに賛同する協賛企業支援のもと、実行委員会主催、「U-22 プログラミング・コンテスト」として開催を継続、通算 46 回目を迎えます。

■U-22 プログラミング・コンテスト 2025 実行委員会

役職	氏名	所属
委員長	江草 陽太	さくらインターネット株式会社 技術推進統括担当 執行役員 兼 CIO 兼 CISO
委員	宇佐見 潮	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 常務執行役員 パブリック セクター統括本部長
委員	青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長
委員	片山 良平	paiza 株式会社 代表取締役社長/CEO
委員	佐藤 文昭	ピー・シー・エー株式会社 代表取締役
委員	鈴木 正之	株式会社ピーエスシー 代表取締役
委員	武井 千雅子	株式会社フォーラムエイト 代表取締役副社長
委員	田中 啓一	日本事務器株式会社 代表取締役社長 兼 CEO
委員	吉原 和彦	アクセンチュア株式会社 テクノロジーコンサルティング本部 インテ リジェントクラウド&インフラストラクチャグループ マネジング・ ディレクター
委員	和田 成史	株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長

■U-22 プログラミング・コンテスト 2025 協賛企業一覧（4 月時点）

ダイヤモンドスポンサー	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社、さくらインターネット株式会社
プラチナスポンサー	株式会社オービックビジネスコンサルタント、サイボウズ株式会社
ゴールドスポンサー	アクセンチュア株式会社、日本事務器株式会社、paiza 株式会社、 株式会社ピーエスシー、ピー・シー・エー株式会社、 株式会社フォーラムエイト
シルバースポンサー	株式会社チェンジホールディングス
ブロンズスポンサー	株式会社コーエーテクモホールディングス、ソフトバンク株式会社、 日本システム開発株式会社、ネクストウェア株式会社、 株式会社バッファロー
プロコン応援団	株式会社アビスト、株式会社インフォテック・サーブ、株式会社内田洋行、 紀尾井町戦略研究所株式会社、コガソフトウェア株式会社、株式会社コス モ・コンピューティングシステム、株式会社コラボスタイル、サイエンス パーク株式会社、株式会社サイバーリンクス、公益財団法人孫正義育英財 団、TAC 株式会社、株式会社テンダ、株式会社 TRADECREATE、株式会社 バース情報科学研究所、株式会社マイクロソフトウェア、弥生株式会社
環境協賛	アシアル株式会社、株式会社アジャイルウェア、サイボウズ株式会社、さく らインターネット株式会社、GMO グローバルサイン・ホールディングス株 式会社

●プロコン応援団（小口協賛）募集中！

https://www.saj.or.jp/C22/notice_details/M7Y0NgIA

■問い合わせ先

U-22プログラミング・コンテスト運営事務局（一般社団法人ソフトウェア協会） 担当：若生

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル

E-mail : u22-info@saj.or.jp <https://u22procon.com/>